

孟子フィールドワークの学習をまとめたポスターを紹介します。

紹介するのは、2年生が環境学の時間で製作した20点から、自分たちの投票で選んだ3作品です。

孟子
#孟子の生物 #毒性生物 #非常に美味
#自然と共存 #自然のレストラン

メンバー

1

トノサマガエル
両生類 トノサマガエル科
池や水田に生息
肉食性で昆虫類、クワガタ
カエルやヘビを食べる。
体長 38mm~81mm 体幅
7~63mm~94mm 産卵
1体につき卵が300個程度
4月~6月に 1000個~
3000個の卵を産卵

アメリカザリガニ
蟹科 雑食性
体長 8cm
非常に美味(個人的感想)

サワガニ
サワガニ科 川の
指標生物 川が汚れて海
以外に生息する
カニの一種 美味

シロ
ヤブ科 常緑樹
温暖で水が良いと生育
乾燥 暖かいと生育
耐水性 耐塩性 耐暑性
各種たわし原料(風呂敷)

フキ
フキ科 地下茎の塊根
丘陵地や開けた場所に生育している
近年 里山の自然環境が減少しているため
人の管理がされている。
よけられている(1)加齢の葉が地表
に生かない(2)開花の葉が10cm以上
成長すれば(3)刈り取られているため
採食されることがあるが
地下茎は有毒(4)の注意
が必要

マムシグサ
マムシグサ科 山や丘陵地の
湿った林に生育する有毒植物
ある。誤食すると吐瀉や嘔吐
の症状が現れる。毒は下痢と
嘔吐を誘発する。毒は下痢と
嘔吐を誘発する。毒は下痢と
嘔吐を誘発する。

クマノミ
トノサマガエル科
水辺に生息する
高志物類(最高速度 70km)
ヤブ、石や木の石を捕食する
約 7cm

クワガタ
クワガタ科 暑がりな
樹木に寄生する
木に生息する(木)の食料
の1つ(木)の食料
非常に美味

ハナヘビ
ハナヘビ科 毒が強く
咬傷すると腫れる。
何れも咬傷すると腫れる。
何れも咬傷すると腫れる。
何れも咬傷すると腫れる。

シロ
シロ科 常緑樹
温暖で水が良いと生育
乾燥 暖かいと生育
耐水性 耐塩性 耐暑性
各種たわし原料(風呂敷)

フキ
フキ科 地下茎の塊根
丘陵地や開けた場所に生育している
近年 里山の自然環境が減少しているため
人の管理がされている。
よけられている(1)加齢の葉が地表
に生かない(2)開花の葉が10cm以上
成長すれば(3)刈り取られているため
採食されることがあるが
地下茎は有毒(4)の注意
が必要

マムシグサ
マムシグサ科 山や丘陵地の
湿った林に生育する有毒植物
ある。誤食すると吐瀉や嘔吐
の症状が現れる。毒は下痢と
嘔吐を誘発する。毒は下痢と
嘔吐を誘発する。毒は下痢と
嘔吐を誘発する。

クマノミ
トノサマガエル科
水辺に生息する
高志物類(最高速度 70km)
ヤブ、石や木の石を捕食する
約 7cm

クワガタ
クワガタ科 暑がりな
樹木に寄生する
木に生息する(木)の食料
の1つ(木)の食料
非常に美味

ハナヘビ
ハナヘビ科 毒が強く
咬傷すると腫れる。
何れも咬傷すると腫れる。
何れも咬傷すると腫れる。
何れも咬傷すると腫れる。



孟子

ワールドワーカー



スギ
日本特産種で日本の樹木にしては最も長くて大きく実りの多い常緑樹である。葉の表面を顕微鏡で見ると、油の分泌孔が並んでおり、樹葉は風流香の村料。

アラカン
山野に生え、樹高は約50mになる。葉は硬く、葉脈が網状で、葉の裏面に白い毛が生える。葉は生薬として用いられる。葉の裏面に白い毛が生える。

ウグイス
体長 15cm 体重 10g
ツバ、大眼、同色の頬、大嘴、舌は赤い。20cm 程度の巣をつくり、「ウグイス」の鳴き声で知られる。日本に多く生息している。

キツネノボクソウ
高さ 10~20cm
葉は卵形、葉の裏面に白い毛が生える。花は赤い。葉は生薬として用いられる。葉の裏面に白い毛が生える。

クサノオモミ
クサノオモミ科
クサノオモミ属
クサノオモミ属の植物
クサノオモミ属の植物
クサノオモミ属の植物

コナラ (落葉樹)
日当たりのよい山野に見られる。かつては薪炭材として里山の代表樹だった。葉は互生、葉の裏面に白い毛が生える。葉の裏面に白い毛が生える。

モキッ アカガエル
体長 10cm 体重 5g
体色は赤い。皮膚は滑らかで、背中に黒い斑点がある。水辺に生息している。

ワラビ
夏緑性シダ 全国各地に生息している。高木に生える。葉は丸い。葉は生薬として用いられる。葉の裏面に白い毛が生える。

ハチ
蜂科の昆虫。巣をつくり、社会性がある。葉は生薬として用いられる。葉の裏面に白い毛が生える。

両面シダ
山地の林床に生じ、大群生をつくることが多い。葉の裏面に白い毛が生える。葉は生薬として用いられる。葉の裏面に白い毛が生える。

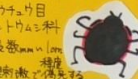
テントウムシ
コウチュウ目 テントウムシ科
体長 5~10mm 程度
物理刺激で鳴き出す

アマガエル
体長 5~10cm 体重 2~5g
体色は緑い。皮膚は滑らかで、背中に黒い斑点がある。水辺に生息している。

クモ
クモ科の昆虫。巣をつくり、社会性がある。葉は生薬として用いられる。葉の裏面に白い毛が生える。

たぬき
管理が難しく、放つと水辺で水が汚れてしまう。こまめに周りの木々を切り取れば大丈夫。

カナヘビ
体長 5~10cm 程度
体色は緑い。皮膚は滑らかで、背中に黒い斑点がある。水辺に生息している。




10月 生活フィールドワーク

孟子 フィールドワーク

アサゴ

学名 *Pteridium arifolium*
 属名 10月植物
 山野に自生。身体が丸く、心臓形の葉が特徴。有毒な山菜として利用される。根は乾燥してアサゴ（北山菜）と呼ばれる。日本には、アサゴの栽培種も存在する。




アマガエル

学名 *Hyla japonica*
 属名 アマガエル科
 10月植物
 日本に広く分布する。雄は、喉にオレンジ色の斑模様がある。雌は、喉が黒い。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。




クマバチ

クマバチは、日本に広く分布する。体長は、約1.5cm。黒と赤の斑模様がある。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。



マダモト

学名 *Madamotus japonicus*
 属名 マダモト科
 10月植物
 日本に広く分布する。体長は、約1.5cm。黒と赤の斑模様がある。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。



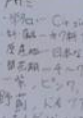
アサギ

学名 *Pteridium arifolium*
 属名 アサギ科
 10月植物
 日本に広く分布する。体長は、約1.5cm。黒と赤の斑模様がある。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。



アサギ

学名 *Pteridium arifolium*
 属名 アサギ科
 10月植物
 日本に広く分布する。体長は、約1.5cm。黒と赤の斑模様がある。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。



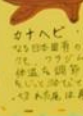
アサギ

学名 *Pteridium arifolium*
 属名 アサギ科
 10月植物
 日本に広く分布する。体長は、約1.5cm。黒と赤の斑模様がある。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。



カサネ

学名 *Pteridium arifolium*
 属名 カサネ科
 10月植物
 日本に広く分布する。体長は、約1.5cm。黒と赤の斑模様がある。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。



アサギ

学名 *Pteridium arifolium*
 属名 アサギ科
 10月植物
 日本に広く分布する。体長は、約1.5cm。黒と赤の斑模様がある。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。



アジ
 アジは、日本に広く分布する。体長は、約1.5cm。黒と赤の斑模様がある。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。

アサギ
 アサギは、日本に広く分布する。体長は、約1.5cm。黒と赤の斑模様がある。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。

アサギ
 アサギは、日本に広く分布する。体長は、約1.5cm。黒と赤の斑模様がある。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。

アサギ
 アサギは、日本に広く分布する。体長は、約1.5cm。黒と赤の斑模様がある。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。

アサギ
 アサギは、日本に広く分布する。体長は、約1.5cm。黒と赤の斑模様がある。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。

アサギ
 アサギは、日本に広く分布する。体長は、約1.5cm。黒と赤の斑模様がある。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。

アサギ
 アサギは、日本に広く分布する。体長は、約1.5cm。黒と赤の斑模様がある。産卵期は、7月～9月。卵は、透明で、糸状の膜で覆われている。幼虫は、水の中で生活する。成体は、陸地や水辺に生息する。